

健康先進国へ

中国国务院は7月15日、「健康中国行動の実施に関する意見」を発表しました。前回(16年)発表した「健康中国2030計画要綱」では、20年までに健康産業体系の形成を図り、30年までには平均寿命(18年時点77歳)を79歳に延伸させるという目標を設定しました。これらを達成すべく、



▶マラソン大会などのスポーツ大会が活発

3大主要任務(計15行動)の意見を発表しました。「健康知識普及」「安価な健康増進行動」「喫煙制限」「大気土壌汚染等健康増進の環境形成」「高齢者健康増進行動」などの実施があり、それぞれの任務に対し組織的に推進していくための委員会設立や人材育成等支援体制の強化などを図っており、国の本気度が伺えます。

健康増進の取り組みの一つであるマラソンが好例です。国民一人当たりGDPが5000ドルを超えた2011年には「中国マラソンブーム元年」と呼ばれる健康ブームが到来しました。生活

健康意識の向上に後押し

水準が上がる
と健康意識も
高まることが
わかります。
そのブームを
利用し、各自
治体はマラソ
ンを都市知名
度向上と健康
増進促進のた
めの「起爆剤」
として活用し
ました。

中国陸上協

会が発表した「中国マラソン2018年度報告」によると18年度に自国開催したマラソン大会や関連スポーツイベント数は前年比43・6%増の1万1581大会、参加者数は前年比17・07%増の延べ583万でした(3月11日人民網)。さらに18年度のマラソン関連消費額は178億元(1元は約16・46円)でマラソン大会開催による経済効果は288億元に到達しています。

この他にも、2017年には屋内全面禁煙条例が施行されるなど、中国はいま、世界の健康先進国になるべく着実に歩み出しています。

中国の高齢者マーケット

～介護・不動産事業の行方～



ゲストハウス総経理
稲田義人

著者プロフィール
ゲストハウス総経理。中国事業に携わって7年、介護職員養成学校の立ち上げや日本式介護研修の実施、また、日系介護企業を集めての上海シニア産業フェアの主催等、上海シニア事業全てを総指揮。